

第7 行方不明少年

1 行方不明少年の推移

過去10年間の推移を見ると、平成30年から減少傾向であったが、令和3年から増加に転じている。

第42表 行方不明少年の推移

区分	年次	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4
	総数		232	271	277	198	239	208	161	120	154
指数		100	117	119	85	103	90	69	52	66	68

2 年代別状況

令和4年中の行方不明少年の年代別状況は、16歳から18歳が57人（36.3%）で最も多く、次いで13歳から15歳が48人（30.6%）で、これらで全体の約7割を占めた。

第43表 行方不明少年の年代別状況

年次	年代別	総数	12歳以下	13歳～15歳	16歳～18歳	19歳
	令和4年		157	31	48	57
	構成比(%)	—	19.7	30.6	36.3	13.4
令和3年		154	21	49	62	22
	構成比(%)	—	13.6	31.8	40.3	14.3
増減	数	3	10	-1	-5	-1
	率(%)	1.9	47.6	-2.0	-8.1	-4.5

3 原因・動機別状況

令和4年中の行方不明少年の原因・動機別状況は、家庭関係が61人（38.9%）で最も多く、全体の約4割を占めた。

第44表 行方不明少年の原因・動機別状況

年次	原因・動機別	総数	家庭関係	異性関係	学業関係	事業職業関係	疾病関係	犯罪事故等 発覚のおそれ	その他	不明
	令和4年		157	61	7	13	7	5	0	26
	構成比(%)	—	38.9	4.5	8.3	4.5	3.2	0.0	16.6	24.2
令和3年		154	63	8	10	6	8	0	40	19
	構成比(%)	—	40.9	5.2	6.5	3.9	5.2	0.0	26.0	12.3
増減	数	3	-2	-1	3	1	-3	0	-14	19
	率(%)	1.9	-3.2	-12.5	30.0	16.7	-37.5	-	-35.0	100.0

4 月別受理状況・発見保護状況

(1) 月別受理状況

令和4年中の行方不明少年の月別受理状況は、6月が19人（12.1%）で最も多く、次いで3月、7月の16人（10.2%）となった。

第45表 行方不明少年の月別受理状況

年次	月別	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和4年		157	13	13	16	9	10	19	16	14	14	10	9	14
	構成比(%)	—	8.3	8.3	10.2	5.7	6.4	12.1	10.2	8.9	8.9	6.4	5.7	8.9
令和3年		154	12	14	9	9	14	12	19	16	13	12	13	11
	構成比(%)	—	7.8	9.1	5.8	5.8	9.1	7.8	12.3	10.4	8.4	7.8	8.4	7.1

(2) 月別発見保護状況

令和4年中の行方不明少年の月別発見保護状況は、9月が17人（11.3%）で最も多く、次いで6月、7月の16人（10.7%）となった。

第46表 行方不明少年の月別発見保護状況

年次	月別	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和4年		150	11	13	14	9	9	16	16	10	17	10	11	14
	構成比(%)	—	7.3	8.7	9.3	6.0	6.0	10.7	10.7	6.7	11.3	6.7	7.3	9.3
令和3年		148	10	11	8	12	13	8	20	15	15	10	14	12
	構成比(%)	—	6.8	7.4	5.4	8.1	8.8	5.4	13.5	10.1	10.1	6.8	9.5	8.1